

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	公民館修繕事業			
予算科目	10 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	田中 敬文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	各地区公民館および中央公民館施設			
根拠法令等	伊予市公民館設置条例、伊予市公民館管理規則			
事業の目的	各地区公民館の施設の充実および安全面の確保			
事業の内容	各地区公民館施設における修繕費用。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	耐震調査の結果に基づき、大平地区公民館耐震補強改修を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,981	45,323	105	39,686
	人件費	406	636	318	636
	合計	0	45,959	423	40,322
人件費 内訳	人工数	0.05	0.08	0.04	0.08
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	406	636	318	636
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,387	45,959	423	40,322

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
修繕費	千円	1981	45323	105	39696

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	908	1,200	1,200	1,200	1,200	5,708

成果指標				
成果指標	各地区公民館施設の修繕費用。			
指標設定の考え方	各地区公民館施設の修繕費用。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目 標	2084	45323	908	0
実 績	1981	39696	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各地区公民館施設の修繕を計画的に行うとともに、耐震診断の結果に基づき大平地区公民館の耐震補強改修を実施し、施設の充実及び安全面の確保に努めることができた。今後も、施設点検を確実にを行い、計画的な修繕を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設を安全に快適に利用できるよう今後も計画的に修繕、改修を行っていく。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・みんなが使う公民館なので、耐震改修も含め、修繕してもらおうと思う。・目標を予算額とし、入札に出すと安く落としてくれる業者がいるというのは、成果指標としていかなものか。・成果指標を修繕費とすると、いかに正確にするか、極めて技術的な部分が出てくる。・自己評価も一次評価も全部Cである。印象としてはBでも良いのではないかという気がする。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	